第 15 回 1 級面接試験合格者の音声による再現 30 分とその発話が加点につながる評価区分

動画で学ぶ 1 級合格キャリア塾の（2025 年度ケース 1・2・3 抜粋）

本試験ケースでロープレの練習をする前に、合格ロープレの再現を視聴して 1 級面接試験の流れを理解します。
合格者のロープレのやり取りの音声から、「合格面談」のイメージを把握します。
合格者は評価区分のどこを意識した発話をしているかを試験官の目で確認することで合格の理由を理解し、実践できるようになる教材です。

価　格	３本 116 分　7,500 円（税込み）　URL をお送りします。2027 年 2 月末まで視聴いただけます。			
	ケース	事例相談者	動画シーンで事例指導者の発話	（リニューアル教材）
1	第 15 回 ケース 1 関係重視型	Ａさん 34 歳女性 不妊治療とキャリアと育児と両立 約４８分	関係構築のバリエーションの豊富な投げかけと交互に問題把握のための質問を入れることで、事例相談者の発話を促している。 傾聴は事実確認をすることと勘違いしている事例相談者に傾聴について効果的な説明をしている。傾聴の目標に合意を得ている システマティックアプローチの構造を活用している	合格者のロープレのやり取りの音声から、「合格面談」のイメージを把握する。
2	第 15 回 ケース 2 問題解決型	Ｂさん 53 歳男性 仕事露家庭の両立 約３４分	関係構築（承認・労い） 問題把握のための豊富な質問力　効果的な気づきを促す質問 抵抗に対する関係構築　一般化 目標設定と合意を得て　具体的な指導法まで進めている	事例相談者には何が不足しているかを理解し、見立てる方法と改善策を把握する。
3	第 15 回 ケース 3 問題解決型	Ｃさん 22 歳女性 内定が取れず希望する会社がない 約３４分	前半はずっと関係を構築するための発話が続き、安心安全の場を作っている。CC の発した同じことばを使って問題把握をしている。共感的理解の発話が効果的である。面談の途中でアラームが鳴り、面談が終了したが、口頭素問では何を話せば加点につながるかが想像できる。	寄り添うことばをふんだんに使うことで事例相談者の自己開示を促している。

一般社団法人 1 級キャリアコンサルティング技能士の会 20261119